

うまい!

# 岩船米づくり情報 No. 8

平成 30 年 7 月  
岩船農業振興協議会  
村上農業普及指導センター

～品質向上のため養分・水分・酸素の補給で暑い夏を乗り切ろう～  
**コシヒカリ2回目穂肥は確実に施用しよう!**

## － 重点事項 －

- ◎ コシヒカリの2回目穂肥は、後期栄養確保による品質向上のため確実に施用する。
- ◎ 出穂後25日間は、根の健康維持を意識した飽水管理を行う（高温時は水の更新）。
- ◎ カメムシ類による斑点米発生防止のため、出穂期以降の薬剤防除を徹底する。

## 1 7月10日現在のコシヒカリの生育状況【普及センター調査ほ】

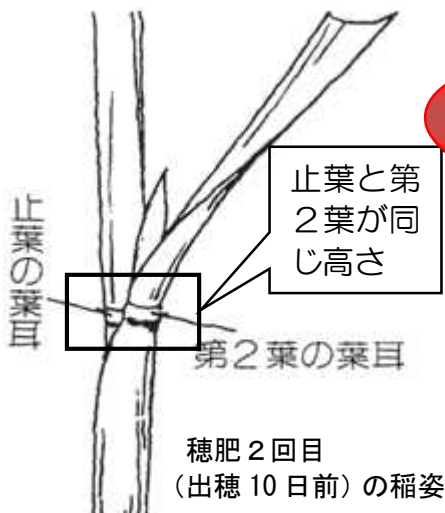
- 草丈：やや長 ●茎数：並～やや少 ●葉色：やや濃い
- 出穂期予想 8月8日頃（平年比1日程度早い）
- 7月上旬の高温で草丈長めに転じ、生育が後ずれしたほ場は葉色濃いめ



## 2 コシヒカリ2回目の穂肥は「暑い夏に備えて確実に施用！」

- 6月25日発表3か月予報では、7月から9月は平均気温が高い確率50%と予想されています。出穂後暑い夏で経過すると肥切れしやすく、品質低下が懸念されます。
  - 登熟期の栄養を確保し、「除く青未熟粒」等による格落ちを防止するためにも、2回目の穂肥（出穂10日前）は確実に施用しましょう。（次表参照）
  - 2回目の穂肥を施用した以降も、高温が続き葉色の著しい低下が見られる場合は出穂3日前（走り穂まで）に追加の穂肥施用をしましょう（チッソ成分で1kg/10a以内）。
- \*穂肥の施用に当たっては、必ずほ場の「生育診断」を行いましょう。

回	時期・幼穂長・外観	診断ポイント	簡易葉色板	穂肥施用例【窒素分量】
2 回 目	【出穂10日前】 ・幼穂長：8cm以上 ・止葉と次の第2葉の葉耳間長±0cm （止葉と第2葉が同じ高さの時）	●草丈：90cm以下 ●下位節間長：15cm以下（第5+第4） ●葉色：32以下（SPAD） 葉色板単葉は4	「淡」に近い →①積極施用 「適」に近い →②適量施用 「濃」に近い →③減量施用	①積極施用 1.2～1.5kg/10a ②適量（通常） 1.0～1.2kg/10a ③減量（控えめ） 1.0kg/10a以下



重要

### 基肥一発肥料栽培で葉色が低下した場合の対応

- 2回目の穂肥時期までに、簡易葉色板で「淡」に近くなる、周辺のほ場より明らかに葉色が淡くなった場合は、速やかにチッソ成分で1kg/10a程度の追肥を行いましょう。
- 追肥する場合には3割減栽培の基準以内となるよう化学由来チッソ分量に注意しましょう。

### 3 暑い夏を乗り切る水管理の徹底で登熟向上

○平年より早く梅雨が明け（7/9）今年も暑い夏が予想されます。イネの活力維持を図るため、出穂期の前後それぞれ 25 日間は飽水管理を基本に、こまめな水管理を心がけましょう。

#### その①：十分な水分補給で登熟を向上させましょう

○幼穂形成期以降は、水田表面を乾かさないうちに**飽水管理**を継続しましょう。

\*飽水管理：水尻を止めて浅く湛水し、自然に水が減って田面に水がなくなり、溝や足跡の底に水がたまっている状態になったら、再び浅く湛水します。

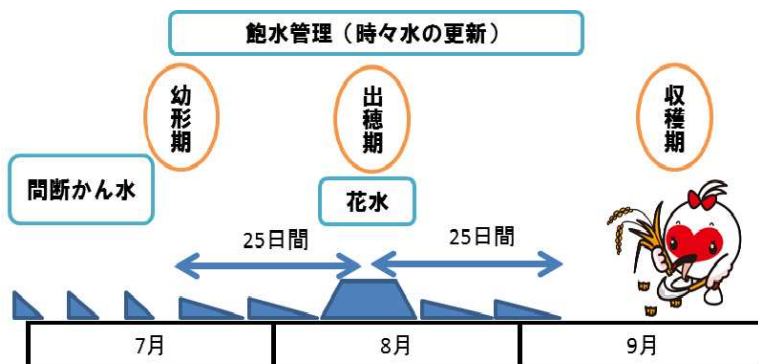


図 水管理のイメージ

○穂肥は、効果を上げるために、水を張った状態で施用しましょう。

○出穂・開花期間は多くの水を必要とする時期なので、十分にかん水しましょう。

#### その②：イネの活力維持を図りましょう

～ 根への酸素供給と夜間の地温を下げる ～

○高温下での長期間にわたる湛水の継続は、根腐れの発生につながります。  
（長期間の湛水は厳禁）

○夏の湛水条件下では、日中は地温の上昇を抑制しますが、夜間は逆に気温より4℃程度高くなり、根の活力が低下します。

○特に湿田等で水持ちの良いほ場では時々落水し、水の入れ替えをしましょう。

○高温が続く場合は、数日おきに夜間に落水し、地温を下げるようにしましょう。

#### その③：フェーン時は予め湛水しましょう

～ 稲体の急激な水分不足による障害の発生を防止する ～

○台風が接近し、フェーンが想定される気象図となったら、速やかに湛水しましょう。輪番取水をしている地区では、取水計画を確認して事前に湛水するなどの準備をしましょう。

### 4 カメムシ類、急増中!!

○7月に入りカメムシ類の発生量が急増し、斑点米が多発する可能性があります。

○出穂期以降に、早生は2回、コシヒカリは1回以上の薬剤防除を確実に実施し、水田内のカメムシ駆除を徹底しましょう。

○近年発生が多いアカヒゲホソミドリカスミカメ及びアカスジカスミカメは、水田内の雑草（ヒエやホタルイ）の穂に集まり、そこで増殖するので、これらの雑草の抜き取りを行うと防除効果が上がります。

アカヒゲホソミドリカスミカメ



イネ科雑草を食害  
本田に飛んで侵入  
割れ粃で被害拡大